

整理番号 06239

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

LECONAL レコナル

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

：急性毒性 経口 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

環境に対する有害性

：水生環境有害性 短期(急性) 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 1

ラベル要素

絵表示



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：

飲み込むと有害。強い目刺激。

水生生物に非常に強い毒性。

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き：【安全対策】

使用後は手を洗う。本製品の使用中に飲食又は喫煙をしない。保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急処置】

飲み込んでしまい気分が悪い場合は医師を呼ぶこと。口をすすぐこと。眼に入った場合水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。すぐに医師を呼ぶこと。

【保管】

混触危険物と分けて保管すること。

【廃棄】

内容物及び容器を、地域、地方、国、国際規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物	
化学名	ポリ(オキシエチレン)オクチル フェニルエーテル	ポリエチレングリコール
成分及び含有量(wt%)	≥97	≤3
化学式又は構造式	$(\text{CH}_3)_3\text{OCH}_2\text{C}(\text{CH}_3)_2$ $\text{C}_6\text{H}_4\text{O}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_n\text{H}$	$\text{HO}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_n\text{H}$
官報公示整理番号		
化審法	(7)-172	(7)-129
安衛法	対象外	対象外
PRTR 法	1-408	対象外
C A S No.	9036-19-5	25322-68-3
国連分類及び国連番号	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移す。症状が悪化、継続する場合は医師を呼び、診察を受けること。
皮膚に付いた場合	多量の水で洗うこと。皮膚に炎症が起きた場合は医療アドバイス・を受けること
眼に入った場合	直ちに多量の水で最低 15 分間は洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を続ける。眼の炎症が続く場合は医療アドバイス・注意を受けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師を呼ぶこと。医師の指示無しに吐かせないこと。

最も重要な症状	入手不可
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

5.火災時の措置

消火剤	水スプレー、泡、乾燥粉末、CO2
使ってはならない消火剤	火災を広げる恐れがある為、ジェット式の消火器は使用しない事。
火災時の特有の危険有害性	火災時、健康に有害なガスが発生することがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	床にこぼした場合、滑りやすいので注意する。関係者以外を退避させる。適切な保護衣を着て清掃する。十分換気する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	バーミキュライト・乾燥砂等に吸収させ、容器へ集める。
環境に対する注意事項	下水、河川、土壌等への流出を避ける。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	十分に換気し、ダスト、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸引を避ける。眼、皮膚、衣服への付着を防ぐ。長期暴露を避ける。口に入れたり、飲み込んだりしない。取り扱い中に飲食、喫煙をしない。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いをを行う。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	密閉できる専用の容器に保管する。混触危険物と同じ場所での保管をしない。(第10項参照)

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. Workplace Environmental Exposure Level (WEEL) Guides

要素	タイプ	値	形状
ポリエチレングリコール (CAS 25322-68-3)	TWA	10 mg/m ³	微粒子

生物学的限界値 生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策	取扱い時には十分な換気を行う。可能であれば作業場所の囲い込みや局所排気装置、その他技術的制御により暴露限界以下を保つ。暴露限界が達成されない場合、許容可能レベルでの大気濃度を保つ。眼の洗浄設備を備える。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。適したグローブは販売元にお問い合わせる。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が十分でない場合、適切な呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する
一般的な衛生事項	飲食物から遠ざける。製品取扱後に飲食、喫煙をする場合は手洗いなど常に衛生に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9.物理/化学的性質

物理状態	
	形状 液体
	色 淡黄色
臭い	軽度
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	>200 °C
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	251 °C (密計式)
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	完全溶解
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	1.061
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態に安定。
危険有害反応可能性	有害な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	混触危険物との接触を避ける。高温を避ける。
混触危険物質	強酸化剤、強酸。
有害な分解生成物	アルデヒド、ケトン、有機酸、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	長期間吸入すると有害のおそれ。
皮膚	皮膚接触による悪影響は予期されない。
眼	強い眼刺激。
飲み込んだ場合	飲み込むと有害。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	重毒な目刺激。流涙、充血、不快感等のおそれ。 失明を含む恒久的な眼の損傷の可能性。

毒物学的影響

急性毒性	飲み込むと有害。
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	強い眼刺激
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	

IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity

分類なし

OSHA Specifically Regulated Substances (29 CFR 1910. 1001-1050)

規制されていない

US. National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

分類無し

生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回暴露）	入手不可
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性	水生水物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性		
要素	種	試験結果	
<hr/>			
ポリエチレングリコール (CAS 25322-68-3)			
水生環境			
魚	LC50	アトランティックサーモン	>1000 mg/L, 96hr
ポリ(オキシエチレン)オ クチルフェニルエーテル (CAS 9036-19-5)			
水生環境			
魚	LC50	ニジマス	7.2 mg/L, 96hr
<hr/>			
残留性/分解性	知られていない。		
生態蓄積性	データなし		
土壌中の移動性	データなし		
オゾン層への有害性	入手不可		
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。		

13.廃棄上の注意

廃棄手順	適合する全ての規則に従って廃棄する。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規則に従う。空容器には製品が残っている場合がある。 当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	利用不可

14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

化学物質管理促進法(PRTR 法) 施行令第2条別表第1(第一種指定化学物質) 408

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(051118) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 28 年 10 月 3 日

改訂：平成 30 年 12 月 19 日（英文 SDS の改訂 法令見直し）

令和 4 年 3 月 4 日（法令見直し、2019 年版 JIS 対応）

令和 5 年 4 月 1 日（法令見直し）

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。